

ブランデンベルガー・松本賞の募集を開始します。

本賞はスイスのブランデンベルガー先生が TIAFT2012（浜松）でのご講演のために来日された際の交通費とご自身の資金を基に設立を提案されたものであり、親友であった故松本勇先生のお名前を併せて冠した賞です。

目的: 日本から TIAFT 年会に参加する方の支援

賞金: 1 人 10 万円（感染状況により Virtual 開催になった場合は、変更になる可能性があります）

応募資格: 日本法中毒学会および国際法中毒学会の会員であり、その年の TIAFT 年会において発表予定の者 1～2 名（筆頭者に限る）。年齢制限は設けないが若手を優先する。

審査: 日本法中毒学会理事会において行なう。ただし、選出後、TIAFT 年会での発表が困難になった場合は、速やかに返却すること。

なお、応募者多数の場合には口頭発表者を優先し、応募者が科研費などの公的研究費の助成を受けている場合には選外または減額することがあります。

応募者は所定の応募用紙、本年の TIAFT での発表予定要旨（英文）、法中毒学に関連する研究論文（5 報以内）の目録を、本年 5 月 15 日必着で、理事会顕彰委員長に提出するものとする。顕彰委員会で審査の上、理事長に候補者を推薦し、理事長は理事会に諮り採否を決定し、応募者に通知するとともにホームページで公開する。

なお、本年の TIAFT2023 はイタリア ローマで 8 月 27 日から 31 日までの予定で開催され、一般発表の申込み締切りは 4 月 30 日です。

①応募用紙、②最近の法中毒関係の論文リスト（5 編以内）、③Abstract（PDF 化したファイル）を下記理事会顕彰委員長宛に e-mail 等で提出して下さい。件名に「応募：ブランデンベルガー・松本賞」と記載をお願いいたします。

なお、受賞者には発表に際して Power Point あるいは Poster に以下のような謝辞を入れて下さい。

例)Acknowledgments: This presentation is supported by Brandenberger-Matsumoto Award 2023 of the Japanese Association of Forensic Toxicology.

日本法中毒学会ホームページ>>学会概要>>会則・規定もご確認ください
(<https://forensic.toxicology.jp/summary/rules/>)。

送付／問合せ先：〒277-0882

千葉県柏市柏の葉 6 丁目 3 番地 1 科学警察研究所

日本法中毒学会理事会 顕彰委員長 岩田祐子

電話：04-7135-8001（内線 2510） e-mail: togawa@nrips.go.jp